

NextFTP

NextFTP は、トックス情報システムで開発、公開されている FTP クライアントソフトです。お客様が作成されたホームページ用コンテンツを CODA ネットワークセンターの WWW サーバに転送される場合に問題なく使用することができます。

NextFTP は、インターネット関連雑誌の付録 CD-ROM や著名なダウンロードサイト、トックス情報システムのホームページ(<http://www.toxsoft.com/nextftp/>)から入手することができます。

なお、NextFTP はシェアウェアとして公開されているソフトウェアです。継続してご使用される場合は、必ずユーザ登録を行ってください。ユーザ登録の詳細に関しては、NextFTP 付属のドキュメント、NextFTP のオンラインマニュアル、トックス情報システムのホームページ(<http://www.almail.com>)等でご確認ください。

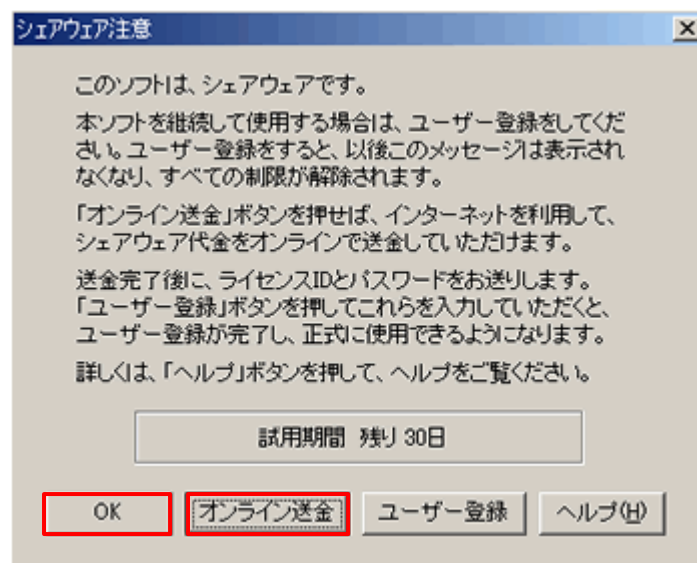
以下に NextFTP を CODA ネットワークセンターで使用するための設定について簡単に説明します。NextFTP をより便利に使用するための設定に関しては、NextFTP 付属のドキュメントまたは、トックス情報システムのホームページ(<http://www.toxsoft.com/nextftp/>)をご参照ください。

設定方法

- (1) NextFTP を起動すると、「ユーザ登録」ダイアログが表示されます。

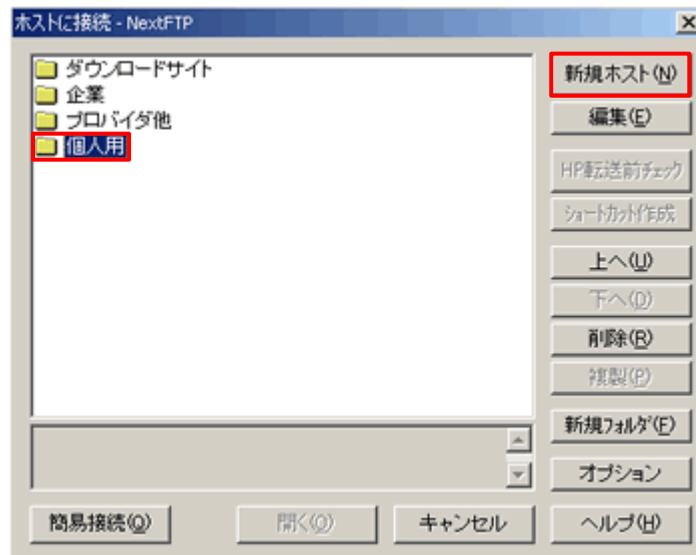
NextFTP はシェアウェアとして公開されているソフトウェアです。継続してご使用される場合は、必ずユーザ登録を行ってください。

ユーザ登録を行う場合は【オンライン送金】ボタンをクリックします。後でユーザ登録を行う場合は、【OK】ボタンをクリックします。



NextFTP

- (2) 「ホストに接続」ダイアログが表示されます。【個人用】を選択し、【新規ホスト】ボタンを押してホームページ用コンテンツを転送するホストを登録します。



- (3) ホストアドレスの設定を行います、以下の項目に入力し【OK】ボタンをクリックします。

ホストアドレス

ホームページを置くWWW サーバ名を入力します。
サーバ名は別紙「ホストアドレス一覧」をご覧ください。

ホスト開始フォルダ

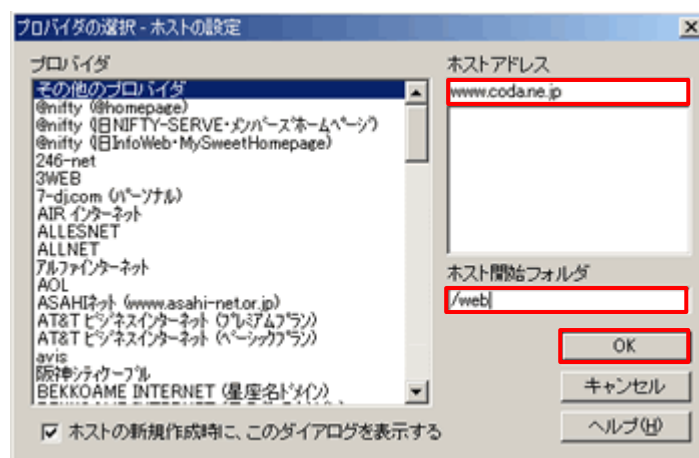
コンテンツを置くサーバ側のディレクトリ(フォルダ)名です。

ホスティングサービスのお客様

「/web」と入力してください。(ホスティングサービスのご契約が2001年6月以前のお客様は、「public_html」と入力してください。)

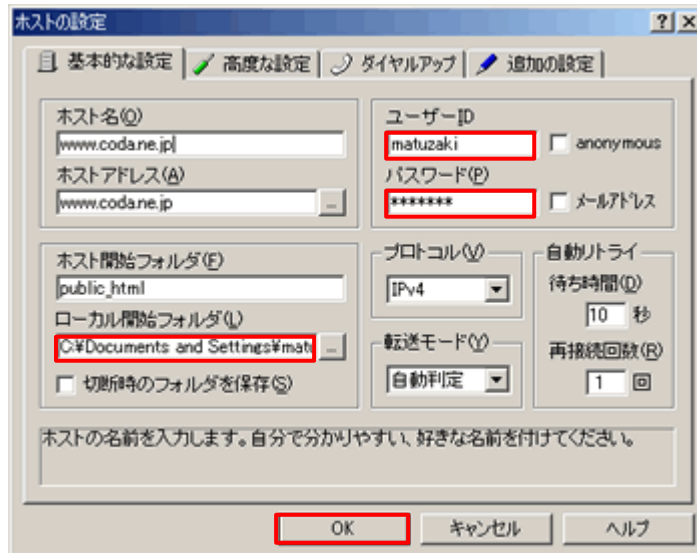
ダイヤルアップIP接続サービスのお客様

「public_html」と入力してください。



NextFTP

(4) ホストの設定を行います。以下の項目に入力し【OK】ボタンをクリックします。



ユーザーID

コンテンツ転送用のホストに接続するための、ユーザ ID を入力します。

ホスティングサービスのお客様

別紙「CODA ホスティングサービス設定完了のお知らせ」に記載しております、「FTP 用アカウント」を入力してください。

ダイヤルアップ IP 接続サービスのお客様

別紙「CODA インターネット接続サービスユーザ登録完了のお知らせ」に記載しております、CODA アカウント欄の「アカウント名」を入力してください。

パスワード

コンテンツ転送用のホストに接続するための、パスワードを入力します。

ホスティングサービスのお客様

別紙「CODA ホスティングサービス設定完了のお知らせ」に記載しております、「FTP 用パスワード」を入力してください。

ダイヤルアップ IP 接続サービスのお客様

別紙「CODA インターネット接続サービスユーザ登録完了のお知らせ」に記載しております、CODA アカウント欄の「パスワード」を入力してください。

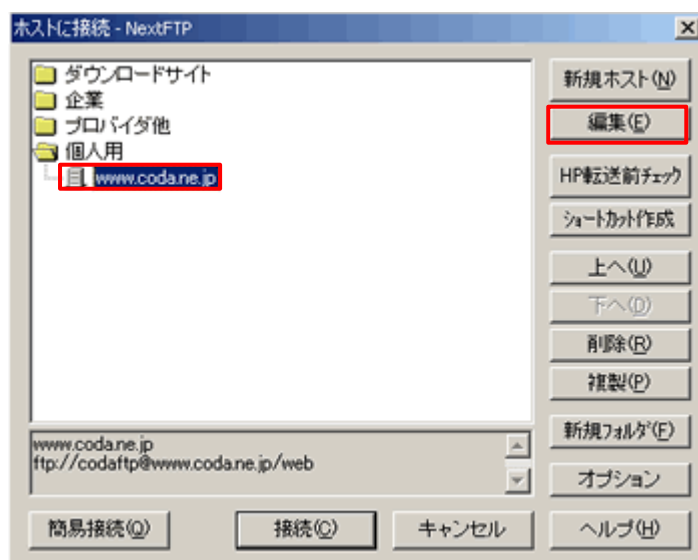
ローカル開始フォルダ(L)

お客様側コンピュータのハードディスクにホームページ作成専用フォルダを作成され、その中のお客様のホームページ用コンテンツを作成されていると思います。ここには、そのフォルダ名を入力してください。

NextFTP

サーバへの接続

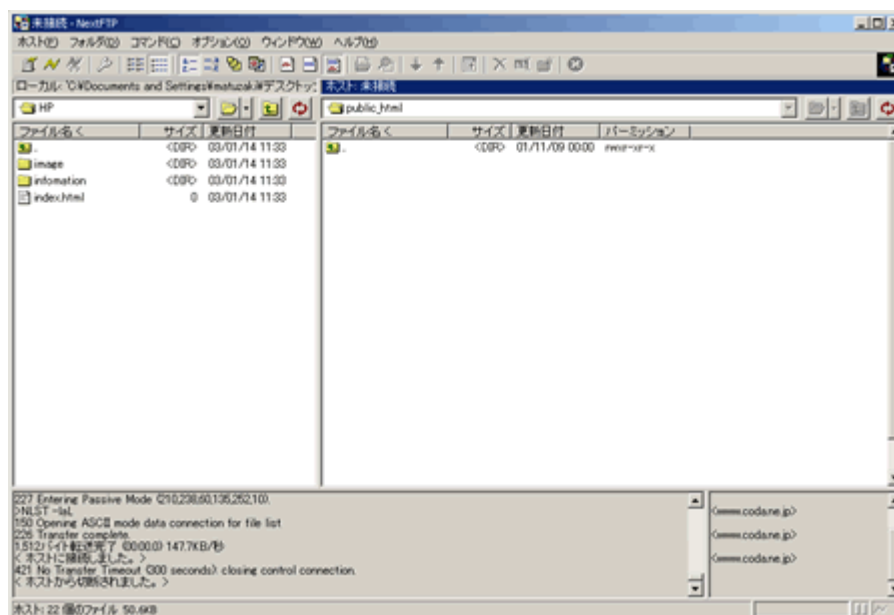
- (1) 「ホストに接続」ダイアログを表示します。先ほど作成した「ホスト」を選択し、【接続】ボタンをクリックするとサーバに接続されます。




NextFTP

サーバへの転送

- (1) サーバに接続すると、左側にローカル(お客様側パソコンのハードディスク)ホスト、右側にサーバホストの内容が表示されます。ホームページ用コンテンツを転送される前にローカルとホストのフォルダを確認してください。



- (2) コンテンツを転送するには、ツールバーの  ボタンをクリックしてください。全自動でコンテンツの転送が行われます。ホームページ転送機能を使用すると、ファイルの更新時間を比較し、更新されたファイルのみを転送することができます。コンテンツがサブフォルダを使った階層構造になっている場合、自動的にフォルダを作成し、フォルダの階層をたどりながらファイルの転送を行います。また、不要になったファイルは自動的に削除されます。

CODA ネットワークセンターのホームページに使用するファイル名は、大文字と小文字が区別されます。NextFTP は、オプションで大文字のファイル名を小文字に変換してファイル転送を行う機能を持っています。必要に応じてオプションを設定してください。

サーバからの切断

コンテンツの転送が完了したら  ボタンをクリックし、サーバとの接続を切断してください。

NextFTP

その他の FTP 操作

NextFTP、ホームページ転送専用の FTP ソフトではなく、汎用的な FTP ソフトですので、個別にファイルの送受信を行ったり、ファイルやディレクトリ(フォルダ)の削除や名前の変更など、各種操作を行うことも可能です。



サーバへの接続がうまく行なえない場合があります。その場合には、「PASV モード」を有効にしてください。

メニューバー【ホスト(F)】- **接続**を選択すると「ホストに接続」ダイアログが表示されます。作成されているホストを選択し**編集** ボタンをクリックします。【高度な設定】タブ-「ファイアウォール」欄の「PASV モード」にチェックを入れて **OK** ボタンをクリックします。

* PASV モードとは？

幾つかのファイアウォールシステムでは、ファイアウォールがシステムに侵入してくる、外向き・内向きの接続を防ぐ場合があります。FTP を使用して外に出るためには、クライアントは接続のエリアを作成しなければなりません。このためのメカニズムを Passive モードといいます。